

# 1 PCサーバーの選択方法

ここでは、PCサーバーの選択についてご説明をします。

①まず、タワー型かラックマウント型かをお選びください。複数台必要な場合は、ラックマウント型をお勧めいたしますが、サーバーラックが必要になります。モニター切替機があれば、モニターは1台で済みます。

②CPUは、数字の大きいものほど、速度が速いですが、ご予算に応じてご選択ください。

③RAIDについて

速度と信頼性については下記表をご覧ください。

	RAID 0	RAID 1
速度	2台のHDDで分散して書き込むので早い。	RAID0より速度は遅い
信頼性	1台のHDDが故障するとデータは消える。	2台のHDDに同じデータを書き込むため1台が故障してもデータが消えることはない。

④メモリやHDDは、ご利用される方のデータ量等により異なります。

当社では、CiPS生産管理システムの場合、32GBメモリ以上、1TB HDD以上を推奨しております。

⑤OSはWindows sever になります。当社のCiPS生産管理システムをご利用の場合は、データベースソフトウェアのMicrosoft SQL Severも必要となります。

⑥保守について（耐用年数）

一般的に、5～6年が寿命と言われていています。ただし、ご利用の施設環境、クライアント台数の日々のアクセス等により、5年より早く消耗してしまう可能性もあります。

⑦バックアップ電源（UPS）

停電等を考慮し、PCサーバーには必ず必要になります。また、定期的にバッテリーを交換する必要があります。（4～6年に1度）

## ★あなたのデータを守るために

当社では、大切な業務のデータを守るために、「RAID1」と外付けHDDへのバックアップを推奨しております。処理速度を上げるためには、SQLサーバーと図面サーバーを分けることがベストな選択になります。

また、バックアップについては、前述のRAID1をご選択した場合でも、100%万全ではありません。天変地異のことも考慮し、外付けのバックアップ装置、あるいは事業所が他にもあれば、1台別のサーバーを置くこともBCP対策としてもよい方法でしょう。1度壊れたHDDを万が一、復旧することができたとしても高額な費用とその間の作業がストップするという、目に見えないコスト費用がかさみます。念には念をいれることも、会社を守る一つの対策と考えます。